

## (仮称) 千歳市こども計画策定に係るこども・若者の意見聴取について

### 1. 意見聴取の目的

令和5年4月に施行された、こども基本法（令和4年法律第77号）（以下「法」という。）において、全てのこども・若者について、その年齢及び発達の程度に応じた意見表明機会や社会的活動に参画する機会を確保すること、こども・若者の意見を尊重し、その最善の利益を優先して考慮することが基本理念として謳われている。

また、法では、こども施策を策定、実施、評価するとき、こども・若者、子育て当事者等の意見を反映するために必要な措置を講ずることを国及び自治体に義務付けている。

これら法の趣旨を踏まえ、(仮称) 千歳市こども計画（以下「計画」という。）の策定にあたって、こども・若者の意見を聴き、計画に反映させることを目的として実施する。

### 2. 意見聴取の実施方法（変更の可能性あり）

#### 《小学生の意見聴取》

日 時：令和6年7月  
場 所：市内の児童館・学童クラブ  
対 象：市内の小学校に通う児童  
実施方法：ワークショップ形式又はアンケート形式  
テ ー マ：検討中

#### 《中学生の意見聴取》

日 時：令和6年10月（市内中学校の職場体験の時期に合わせて実施）  
対 象：市内教育・保育施設で職場体験を行った生徒  
実施方法：アンケート形式  
テ ー マ：職場体験を経て、保育の仕事に対して感じたこと等

#### 【テーマ設定の理由】

保育士の確保は喫緊の課題であるが、実際に保育の現場を体験した中学生の率直な想いを聴き、保育の仕事のイメージアップにつながる取組を検討する際の参考としたい。

#### 《高校生の意見徴収》 ※実施済み

日 時：令和6年5月10日（金）16：00～  
場 所：千歳市役所第2庁舎 会議室3・4  
対 象：北海道立千歳高等学校 英語部員6名  
実施方法：ワークショップ形式

テ ー マ：男性の育児休業について

**【テーマ設定の理由】**

国では、共働き・共育てを定着させていくため、男性の育休取得促進を掲げているが、本市においても、女性に比べて取得が進んでいないのが実態であることから、高校生の、男性の育休取得に対する考え等を聴き、発信することで市・企業における機運醸成を図りたい。

実施結果：別紙資料参照

**《大学生の意見聴取》**

日 時：令和6年7月10日（水）※予定

場 所：公立千歳科学技術大学

対 象：公立千歳科学技術大学学生

実施方法：ワークショップ形式

テ ー マ：「こどもまんなか社会」の実現に向けて千歳市がすべきこと

**【テーマ設定の理由】**

国で掲げる「こどもまんなか社会」の実現に向けて、当事者であるこども・若者が必要と考える取組を聴き、千歳市が取り組むべき施策の検討に活かしたい。また、今後もこども・若者が大人（市）に意見表明しやすい環境を整備する必要があるため、学生目線で見ると効果的と考える意見表明の手法を聴き、実施検討にあたっての参考としたい。

**《こども・若者向けパブリックコメント》**

実施時期：令和6年12月～令和7年1月

対 象：市内の学校に在籍する小学生、中学生、高校生、大学生

実施方法：市ホームページ、公共施設での文書による公表

※こども向けのパブリックコメント実施にあたっては、別にこどもに配慮した計画素案の作成を検討する。

**3. 聴取した意見の計画への反映及びフィードバック**

聴取した意見については、計画に定める施策に反映させることを基本として検討を進める。

また、その検討結果や反映状況については、計画書への記載により公表する等、適切な方法でこども・若者にフィードバックするものとする。